

中学1年生は、3年間の基盤づくり。太く大きな根っこを育てよう。

根っこ

森町立旭が丘中学校第1学年
学年通信 第4号
令和2年 4月30日(木)
文責 間瀬 彰浩

GW 中の生活を良いものにしよう

早いもので4月が終わりを迎えます。本来であれば、4月には学校生活のリズムをつくり、新しい生活の基盤を確実なものにしていく時期です。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のための休校が4/10から始まり、登校日を含めた学校での生活は7日間となりました。「中学校での生活を身に付けることができているのか」という不安もありましたが、校内での生活を見ていると、どのクラスも「始業2分前の入室、黙想」の取組がしっかりしていて時間を守る意識が見られたり、誰とでも仲良くなって学校での生活を良いものにしていこうとする姿を感じたりすることができ、短い学校での生活においても、中学生として目標をもってがんばろうとする姿を見ることができました。

休校中の登校日は、本日でいったん終わりになります。例年であればGWのこの時期は、旅行を楽しんだり、新しい友だちと遊んだり、部活動に励んだりするときになると思います。しかしながら、今年は外出の自粛要請が出ているため、家庭で過ごすことが多くなると思います。その時間をどのように使っていくかをよく考えてください。「普段やらないことをやってみる」「地域や家族のためになることをやってみる」「自分の将来を考えてみる」など、自分の世界を広げるチャンスにもなると思います。併せて、休校が終わった後の生活を意識し、日々の寝る時間、起きる時間などの生活リズムを崩さないようにしてください。「連休中の生活について」のプリントが学校から出されています。そちらも参考にしてください。

元気なみなさんと5/11(月)に会えるのを楽しみにしています。



登校日の様子(4/22)

臨時休校となり授業を進めることが難しい中、登校日に20分間の授業を行い、5教科の学習内容の要点を確認しています。みんな真剣に取り組み、学習を充実したものにしようとして取り組んでいます。

